

自然学習講座

テーマ：葛飾の田んぼについて知ろう！

日時：令和8年7月5日(日) 午前10時から12時まで(雨天決行)

講師：水元かわせみの里専門員

参加費：無料 定員：30人

受付開始：令和8年6月2日(火)

集合：水元かわせみの里 水辺のふれあいルーム

受付：令和8年6月14日(日)までWeb・電話で受付。応募多数の場合抽選。

※ 動きやすく、汚れてもよい長袖長ズボンでお越しください。
※ 歩きやすい運動靴などでお越しください。



かつて葛飾にもたくさん田んぼがありました。田んぼが育んだ生物多様性や文化などについて学びます。

イベント・ガイドウォーク

全国みどりと花のフェアかつしか 令和8年5月16日(土) ~6月14日(日)

子どもから大人まで環境について楽しく学べるイベントです。水元かわせみの里は6月13日(土)~14日(日)に出展します。



ガイドウォーク 1回目 11時から30分間
2回目 13時30分から30分間

専門員が水元かわせみの里周辺を解説しながらご案内します。ボランティア活動日はボランティアさんが野草園を案内します。



水元かわせみの里とは (水元小合溜水質浄化センター)

水元小合溜の水辺環境を、豊かな生きものが生息していた昭和30年代前半の頃のように戻すために作られた、水質を浄化する施設です。施設内にある水辺のふれあいルームでは、専門員による解説や講座、様々な展示やイベントなどを通して、周辺の自然や歴史、水質浄化の取り組みなどについて楽しく学ぶことができます。



■ 開館時間・・・9時から17時30分(4月から10月)、9時から16時30分(11月から3月)

■ 休館日・・・月曜(祝日の場合は、その直後の平日)

■ お問い合わせ・・・水元かわせみの里 03(3627)5201 東京都葛飾区水元公園8番3号

■ 交通 京成バス
水元公園循環バス(3月から11月の土日祝のみ) 金町駅南口←→戸ヶ崎操車場・八潮駅南口(金61系統)
バス停の場所は、5ページの地図をご覧ください。 金町駅南口→水元公園→金町駅南口
水元かわせみの里下車 徒歩1分 水元五丁目または 大場川下車 徒歩5分

※ お車でお越しの際は、水元公園有料駐車場をご利用ください。



葛飾区公式HP



ブログ



Facebook



X (旧Twitter)

水元かわせみの里

水辺のふれあいルーム通信

令和8年 5月20日 (通算第230号)



水元小合溜の生きもの:220

アオオビハエトリ

クモ目ハエトリグモ科

全長 4~6mm

時期 5~8月

ちょっと変わった偏食家?

網を張らずに地表や葉の上などを歩きまわり、水元公園では手すりなどの上でもよく見られます。ハエトリグモの多くはハエなどの小さな虫を捕食しますが、アオオビハエトリはアリを主に捕食する『蠅捕蜘蛛』ならぬ『蟻捕蜘蛛』です。



▲前脚を真上にピンと立てるポーズが特徴的

名前の由来は頭胸部側面の青い帯模様▼



アリの狩りは一苦労?



アリは小さいながらも強靱なアゴを持ち、集団で敵に襲い掛かるため、襲う側からすれば大きなリスクを伴います。アオオビハエトリはアリを狩る際、逆に襲われたりしないよう隙を見て何度か噛みつき、弱らせてから捕食するという、非常に慎重な狩りを行います。

発見!お散歩隊がゆく

日々変わりゆく小合溜の自然を、お散歩隊が見つけて紹介します!



1 5/5 クロイトトンボ 青い胸部と腹部が特徴のイトトンボの一種。交尾時には雌雄で連結して飛ぶ様子も見られる。



2 5/3 コガネグモの幼体 最大で体長3cmになる大型のクモ。丈長の草の間に網を張り、X字状のポーズで待機していた。



3 5/6 ヤセウツボ シロツメクサのそばで見られた。マメ科植物から養分を得ている寄生植物のため、葉を持たない。



4 5/6 オオヨシキリ 河川などの葦原に生息する夏鳥。「ギョギョシ、ギョギョシ」という特徴的な声でさえすっていた。



5 5/6 ヤマグワ 赤色や黒色の実を多くつけていた。雌株の木はたくさんの甘い果実をつけ、小鳥の好物になる。



6 5/6 クワコの幼虫 鳥糞擬態でクワの葉の上でじっとしていた。絹糸をつくるカイコの原種だと考えられている。



7 5/6 ヘビイチゴ 日当たりの良い草地で見られた。いかにもおいしそうに見えるが、味はほとんどない。



8 5/6 シオカラトンボ(み) 壁面に止まり羽化していた。羽化してしばらくは、オスもメスのような麦わら色になる。



9 5/16 ハイログンゴロウ 現在も水元公園で見られるゲンゴロウの一種。素早い動きで水中を泳ぎ回る。

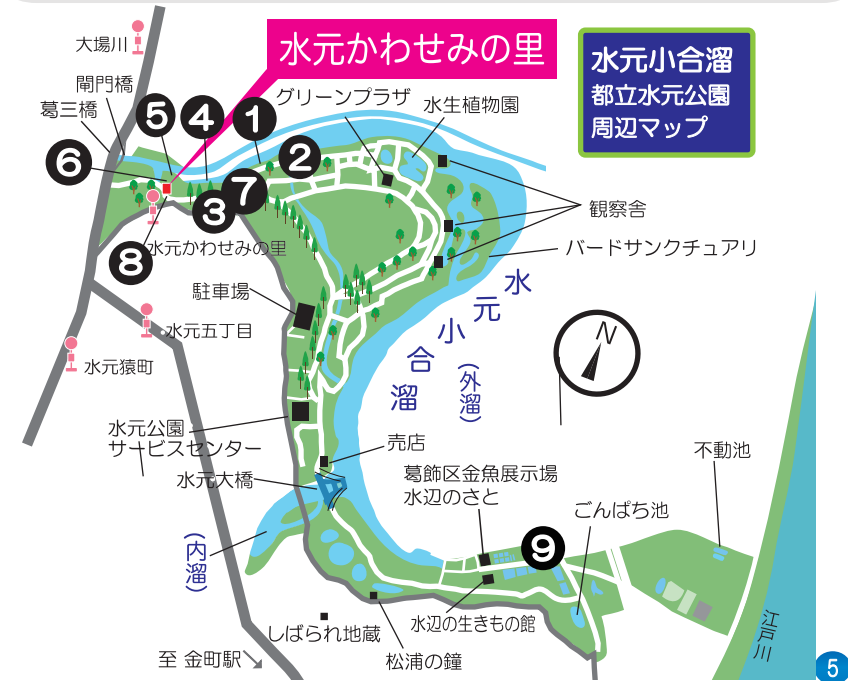
2 ● 写真を撮った場所を地図上に示してありますが、他の場所でも見られます。皆さんもぜひ見つけてみましょう。

専門員コラム 「水元かわせみの里の田んぼ」のお話

水元かわせみの里には現在、ボランティアの協力で作りあげた、素掘りの田んぼがあります。この田んぼは、米を育てて収穫するだけでなく、様々な生きものの憩いの場とするべく整備しました。

田んぼはとても多くの生きものの住処です。水元公園周辺も、昔は水元小合溜を水源とする田んぼが一面に広がり、様々な水生生物が見られていました。しかし、葛飾区では現在ほぼ全ての田んぼが消失し、同時に溜池などの湿地の多くが埋め立てられたことで、メダカやゲンゴロウ(9)など、かつて身近だった「田んぼの生きもの」の多くが絶滅の危機にあります。水元小合溜のような溜池は、本来そうした生きものの避難場所となりますが、アメリカザリガニやウシガエルなどの外来種が多いせいか、その機能を十分に果たせていません。

生きもののバトンを繋ぐことは、その生きものが暮らしていける環境と、その環境を生み出していた人の営みの歴史を繋ぐことでもあります。水元かわせみの里は、地域の自然を守り、歴史を伝える施設として、かつて多くの生きものが暮らしていたであろう場所を目指し、田んぼを創出しました。この田んぼに、トンボやゲンゴロウなど、様々な水生生物がやってきてくれて、豊かに暮らしていく姿を見られる日を、楽しみにしています。(野間)



ボランティア活動報告

施設入り口に、素掘りの田んぼが完成しました！

ボランティア・キッズボランティアの協力のもと、施設入り口で作っていた田んぼが完成しました。植わっていたツツジを伐根し、土を掘り返し、石を取り除き、防水シートを張り、外来生物の侵入を防ぐための柵を取り付けました。5月24日に田植えを予定しています。



ツツジの植栽された緑地を……



掘り返してシートを張り、田んぼの土で覆土しました！



外来生物の侵入防止柵を設置して……



水を張ったら完成！きっと、様々な生きものの暮らす田んぼになるはずですよ。

ボランティア募集

水元かわせみの里ボランティアは、活動を通して、ボランティアの方々が地域への愛着を育み、ひいては地域の発展へ貢献することを目標とします。地域の自然保護活動や、来館者へのクラフト教室など、やりがいをもって参加いただける活動がたくさんありますので、気軽にご参加いただきたいと思います。

- 活動内容 水元かわせみの里周辺の美化活動や、水辺のふれあいルームの管理等補助作業、ガイドウォーク等の補助作業、ボランティア研修会の受講、葛飾区子どもまつり、環境・緑化フェアなどへの参加
- 募集期間 随時募集しています
- 対象 18歳以上の方(原則)
- 活動日 月4回程度(定例活動日 第1、3土曜日、第2、4木曜日)
- 申し込み・お問い合わせ 水元かわせみの里 03(3627)5201

学校等団体利用のご案内

水元かわせみの里には、水元小合溜の歴史や自然の解説を行う専門員がいます。総合的な学習の時間、理科、社会科、生活科などの学習にぜひご利用ください。

総合的な学習の時間



植物の葉っぱと種の観察

水元小合溜周辺の身近な生きものや、環境、歴史について楽しく学びます。水質浄化センターの見学なども可能です。

職場体験受け入れ



中学生職場体験

施設周辺の美化活動、施設内の管理作業、生きものの調査、ガイドウォークの補助など、様々な体験が可能です。

自由研究の補助



虫とのキットを作る

水辺の生きもの調査、図鑑作りなど、様々な内容の自由研究のイベントを行い、夏休みの児童への、学習のサポートをします。

その他、主な団体利用の内容

- ・生物関係のクラブ活動の補助
- ・大学、専門学校の実習の受け入れ
- ・福祉系団体への自然解説
- ・歩こう会など、各種団体への自然解説

※バスでの来館のご希望や、ガイドの時間・内容などの詳細については、ご相談ください。
※団体利用に関するお問い合わせは、水元かわせみの里窓口、または電話(水元かわせみの里 03-3627-5201)まで。

野草園だより 見頃の生きもの 5月編

水元かわせみの里の裏手にある小さなピオトープ「野草園」。様々な生きものが暮らすこのピオトープで見られる、ステキな生きものをご紹介します。

5月の見頃

ミゾコウジュ

シソ科アキギリ属で湿地などに生える越年草。茎の断面は四角形で、高さは30~70cmになります。シソ科は7月頃から花が咲く植物が多いですが、本種は5~6月頃に淡紫色の小さい花をつけます。河川開発で生息環境が減り、東京都でも準絶滅危惧種に指定されています。



見られるポイントはココ！

